

DEREK PRINCE
MINISTRIES INTERNATIONAL

ディボーション

いのちに移る

イエスは私たちの罪と共に罪とされ、私たちが彼の義によって義とされるためでした。



日 111/365
Declaring God's Word
著者 デレク・プリンス

今日は「ローマ書のレシピ」の材料を、より詳しく見ていきましょう。ローマ人 への手紙６章は、同一化のポイントを段階的に紹介しています。第一に、イエスが 死なれたときに私たちは「罪に対して死」に（２節)、イエスの死と自分を重ねる のです。イエスが十字架につけられた時、私たちの「古い人」（６節)、つまりア ダムから受け継いだ反抗の性質も十字架につけられました。第二に、「私たちは キリストとともに葬られ」ました（４節)。バプテスマによって私たちはイエス とともに死んで、イエスとともに葬られたのです。第三に、「キリストの復活とも 同じように」なります（５節)。私たちは、死と埋葬を経てキリストの復活のいの ちに移り、キリストのいのちにあずかるのです。イエスの死と埋葬と復活の中でイ エスと自分を重ね合わせるとき、その結果は次の通りです。

- 1.「罪のからだが滅ぼされ」ます（６節)。私たちを奴隷にし、正しいことを したいと思っていながらも間違ったことをさせていた腐敗した邪悪な性質は 力を失います。それは死に渡されました。
- 2. その結果、私たちは「もはや罪の奴隷でなく」なります（６節)。罪はもは や、地上でそして永遠に私たちにわざわいをもたらす有害で破壊的なことを 強いることはありません。
- 3. そして、私たちは「罪から解放されて」います（７節)。文字通り義とされ 、 無罪とされます。イエスは私たちの罪の最終的な罰を受けてくださいました。 罪の力と罰から解放された私たちは今、良心を持って、恐れることなく全能 の神の前に立つことができるのです。
- 4. 最後に、私たちは「キリストとともに生きることにもなる」（８節）のです。 何と素晴らしい約束でしょうか。キリストの永遠の復活のいのちにあずかる ことになるのです。キリストは一度罪のために一度死なれたので、再び死ぬ ことはありません。永遠に神にあって生きておられ、私たちはその永遠のいのちに入るのです。

感謝します、イエス様、あなたの十字架での働きに。私はイエスとの同一化によって、もはや罪の奴隷ではないことを宣言します。イエスは私の罪深さをもって罪とされ、私が彼の義によって義とされるためです。アーメン。

© 2008 - □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

ディボーション ★

原稿: WD-B097-111-JPN
最終更新日: 07 Oct 2026
ウェブサイト: Derekprince.com/ja/resources

